

2025 年 12 月吉日

お取引様 各位

[有限会社池田商店]

輸入食肉製品(スペイン産豚肉・ブラジル産鶏肉)の 供給情勢および価格改定に関する重要なお知らせ

拝啓

師走の候、貴社ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、報道等でもご周知の通り、現在、我が国の輸入食肉市場において、主要産地で
の家畜伝染病発生に伴う**「輸入停止措置」**が相次いでおり、供給および価格に
甚大な影響が出ております。つきましては、下記現状をご賢察いただき、今後の納
品体制および価格改定につきまして、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し
上げます。

敬具

記

1. スペイン産 豚肉の状況 (ASF 発生による国単位の輸入停止)

- ・ 発生事案: 2025 年 11 月 28 日、スペイン国内(カタルーニャ州)にて ASF(アフリカ豚熱)の発生が確認されました。
- ・ 政府措置: これを受け、日本政府(農林水産省)は 11 月 29 日付でスペインからの豚肉輸入を一時停止しました。
- ・ 影響: スペインは日本の輸入冷凍豚肉(特にバラ肉・シートベリー等)の主力供給国です。今回の措置は特定の州だけでなく「国単位」での停止となっているため、代替品の確保が困難となり、在庫の枯渇および相場の急騰が避けられない状況です。

2. ブラジル産 鶏肉の状況 (鳥インフルエンザによる供給減と円安)

- 発生事案：2025 年 5 月以降、主要生産州(リオグランデ・ド・スル州等)で高病原性鳥インフルエンザが相次いで発生しています。
- 政府措置：日本政府は発生した州からの輸入を停止しており、現在も解除の目処が立っておりません。
- 影響：供給量の絶対的な減少に加え、継続的な円安の影響も重なり、仕入れ価格が高騰しております。また、他国産への引き合いも強まり、鶏肉全体で品薄感が強まっています。

【今後の対応について】弊社といたしましても在庫確保に全力を尽くしておりますが、**「商品の切り替え(産地変更)」「納品数量の調整」「価格の改定」**をお願いせざるを得ない局面となっております。大変心苦しいお願いではございますが、安定供給維持のため、個別にご相談させていただきたく存じます。

今後の状況変化につきましては、随時迅速にご報告申し上げます。末筆ではございますが、貴社の益々のご発展をお祈り申し上げます。

以上